

## 第10回 全国中高教育模擬国連大会(AJEMUN)

### 生徒実行委員募集要項

今大会を主催する全国中高教育模擬国連研究会は昨年の第9回大会に引き続き、大会運営に関わる生徒実行委員を募集します。大会のキャッチフレーズは「高校生の高校生による高校生のための大会」です。大会参加の中高生は最大で700名余りにもなり、日本最大級の中高模擬国連大会です。あなたもこのような大きな大会の実行委員として全国の高校生とともに活躍してみませんか？なお、この募集はあくまで運営を司る実行委員の募集であって、大会に参加する大使の募集ではありませんのでご注意ください！大会参加大使の募集は6月初めに開始する予定です。

#### 大会実行委員とは？

大会実行委員長(1名)と実行委員(約30名)で構成し、以下のセクションに別れて大会の準備から事後の業務まで仕事を分担し活動してもらいます。全国の高校生により構成されるので、対面で会議を開くことはできません。実行委員会議やセクションごとの打ち合わせは、オンラインのテレビ会議システムなどを利用して行います。従ってインターネットに接続されたPCやスマホ等が使える環境が必須となります。ただし、どうしても必要な場合、対面で話し合うことがあるかもしれませんが、出席は必須ではありませんのでご安心ください。

#### ① 実行委員長：

実行委員のリーダーであり、渉外や取材対応も担当します。大会の顔として表舞台に立つ機会が多い役職です。大会運営の重要事項の議論に際しては、リーダーとして実行委員全体の意思決定を取りまとめてください。また、下記のセクションのメンバーも兼任していただきますので、大会当日はセクションの一員としての役割も務めてください。

#### ② 広報セクション：

大会ポスターや公式HP、当日パンフレットなどの作成とその管理運営などを担います。

#### ③ 運営・受付セクション：

主に募集・受付担当や開閉会式担当などに分かれ、それぞれ会場設営、当日受付業務、開閉会式の企画・進行などを担います。

#### ④ フロントセクション：

主にフロント業務、アドミニ指導業務などを担います。フロントとはいわゆる議長団のことで、議長(chair)、副議長(vice chair)、秘書官(secretary)、会議監督(director)で構成されます。議長、副議長で議事を進行し、秘書官が記録などを担当し、会議監督が議事進行のあり方を常にチェックします。会議細則の作成などにも関わります。

\*当日のアドミニは後日募集する予定です。アドミニを希望する方は、もうしばらくお待ち下さい。ただし、オンライン開催のみとなった場合は募集を中止する可能性もあります。

以下の応募規定を読んで、第10回大会公式HPからダウンロードできる専用の応募フォームで応募して下さい。

第10回AJEMUN 公式HP: <https://zenmoken.com/%e7%ac%ac10%e5%9b%9eajemun-home/>

\*過去の大会に参加した学校の先生方にもご案内のメールをお送りしています。ご確認ください。

## 1、大会概要

大会名: 第10回全国中高教育模擬国連大会(AJEMUN)

主催: 全国中高教育模擬国連研究会(全模研)

開催日時: 2026年8月8日(土) 9日(日)の2日間 (8月7日(金)午後は準備日)

開催場所: 国立オリンピック記念青少年総合センター

大会規模: 最大約700名(最大5~6つ程度の会場に別れて議論します)

会議方式: 全日本高校模擬国連大会と同じ方式(ハーバード方式)

使用言語: 日本語(ただし簡単な定型句などは英語を使用する場合があります)

参加費: 未定

運営主体及び組織: 元国連日本政府代表部次席大使の星野俊也氏を大会顧問とし、高校生による実行委員会と全模研教員とによって構成される大会運営事務局により運営する。

## 2、大会趣旨・募集趣旨

今大会は、全国的にその教育的価値が認められている模擬国連活動を、より多くの高校生に体験してもらうための動機付けとして、また普段の活動の成果を出す機会として利用してもらうことを目的としています。そして実行委員同士が準備段階から大会当日に至るまで、様々な出会いや議論を通して人間的にも成長をとげて欲しい.....そのような思いも込めて大会名には「教育」という名を冠しています。また今大会は、使用言語を日本語にすることによって、模擬国連を始めただけの入門者へも門戸を広げました。初心者議場では、会議中に適宜会議の解説なども行う予定です。その意味でも「教育」的な模擬国連を目指しています。さらに全国規模の大会を高校生自らが作り上げることによって、より多くの中高生に模擬国連の楽しさ、素晴らしさを周知してもらおうという趣旨のもと、実行委員を募集することとしました。

## 3、応募資格

- 日本の高等学校相当の学校に在籍する生徒で、大会の趣旨をよく理解し大会終了後まで任務を全うできること。
- 2026年3月現在で上記高等学校に在籍していること。(現中3生は応募できません)
- とくにフロントセクションの希望者は複数回の会議経験を必要とする。(フロント経験があれば望ましい)
- 別紙(Word文書)による学校からの推薦書と保護者の承諾書を提出できること。
- 原則として大会準備日(午後)から最終日までの3日間、大会の会場に通えること。
- オンラインで開催される実行委員会議用に、PC やスマホなどのデバイスを準備できること。

学校の先生方へ、

別紙(Word文書)による学校からの推薦状を必要としていますが、大会当日やそれ以外の場面での実行委員活動における担当教員の引率は必須ではありません。ただし、この大会の実行委員生徒の活動は、あくまで在籍する学校の管轄下での活動となります。従いまして、引率等の有無は各学校の判断となりますことをご了解ください。なお、担当教員には、大会事務局から実行委員生徒への連絡事項が必要な際に、伝達窓口になっていただくことを併せてご了解ください。

## 4、募集期間

- 2月24日(火)~3月10日(火)

## 5、募集人員

- ①は1名
- ②③④の各セクションで数名から20名程度(各セクションのセクションリーダーも募集します)
- 各学校からの応募の人数制限はありません。

## 6、募集セクション(役割分担)

- 上記のいずれかのセクションに所属して活動していただきます。応募用紙に希望のセクションを記入して下さい。セクションを兼任してもら場合もあります。

## 7、活動期間

- 2026年4月以降、各セクションで活動を開始し、大会後の8月下旬が終了の目安です。ただし、セクションによっては報告書の作成など、その後も活動が残る場合があります。大会期間中は原則として前日の準備日(午後)から大会2日目まで会場に通っていただきます。

## 8、応募方法

- 第10回大会公式HPより「実行委員応募フォーム」及び「推薦書・保護者承諾書」をダウンロードし、以下の3つのファイル形式にして下記メールアドレスへ送付してください。また、これらの書類は、過去の大会に参加された学校の先生方にも送付しています。

①「実行委員応募フォーム」Word データ形式 全てPCで記入

②「推薦書・保護者承諾書」Word データ形式 全てPCで記入(保護者サイン欄は空欄)

③「推薦書・保護者承諾書」PDF データ形式 保護者サイン欄に手書き記入

応募に関する質問などについても、下記大会公式メールアドレスまでお問い合わせ下さい。

[ajemun2026@gmail.com](mailto:ajemun2026@gmail.com)

## 9、選考結果について

- 応募者多数の場合は新3年生を優先し、応募書類の志望理由内容(フロント希望の場合は会議経験なども含む)により選考します。なお、選考過程・選考理由等は一切公表できませんので、ご了承下さい。
- 選考結果は、4月上旬までに応募フォームに記された生徒と担当教員全員のメールアドレスに送付する予定です。